

# KGA

関東ゴルフ連盟  
2001年春号

No.34

## 目次

- 〈今年度活動方針〉 "ブーム"の背後にあるもの …1  
 関東ゴルフ連盟理事長 細川 護貞  
 〈KGALレポート〉 ゴルフ界の3本の矢 ……2  
 春は"ジュニア"とともに ……4  
 平成3年度役員・分科委員名簿 ……8

- 新規加盟倶楽部紹介 .....11  
 総会・理事会・分科委員会 .....14  
 お知らせ .....20  
 表紙Photo 東京国際カントリー倶楽部（撮影・深井昌司 KGA広報委員）

 関東ゴルフ連盟

## KGA今年度活動方針

### "ブーム"の背後にあるもの

関東ゴルフ連盟理事長 細川 護貞

第43回関東ゴルフ連盟通常総会は、去る2月22日開催されました。議案審議にさきだち、細川理事長より次のような活動方針が示されました。



統計によると、わが国の元年度全国ゴルフ場利用者数は驚くべきことに、約9,000万人のことです。（自治省、日本ゴルフ場事業協会調べ）

まさに空前のゴルフ・ブームが続いているります。

この数字を見る限り、わが国のゴルフ場は隆盛の一途をたどっているように思われますが、私はいたずらに数の多寡を論ずるべきではなく、このブームの背後にあるものの、その内容、質といったものを冷徹に見る必要があると思います。

#### 「日本ゴルフ関連団体協議会」の結成

ゴルフ界の内実は急激な規模の拡大とともに、問題は山積しております。具体的な事については後ほどふれるとして、私たちはいかなる問題に対しても毅然とした態度で対処する必要のあることは申すまでもありません。

そのため、一つの組織を結成いたしました。

「日本ゴルフ関連団体協議会」がそれであります。

この協議会は、「財日本ゴルフ協会」「日本パブリックゴルフ協会」「ゴルファーの緑化促進協会」の4者が集り連繋して作ったものです。各団体、それぞれ結成時の目的は異なるわけですが、大同団結して事にあたろうと考えております。

わが関東ゴルフ連盟もゴルフ界の中核として、積極的にかかわっていきたいと思います。皆様のご協力、ご尽力をお願いする次第です。

#### 特筆すべき"ジュニア育成"活動

さて、昨年度の連盟活動は順調でした。主催競技も関東オープンを筆頭に、予選、決勝合せて12の競技は、開催倶楽部ならびに委員諸氏のご協力により盛会かつ平穏に終了することができました。

分科委員会の中で特筆すべきは、ジュニア委員会の活動でした。KGA主催ジュニア・ゴルフ・スクールは、春・夏休みの間に10会場で開催、828名の多くのジュニアが参加し、きわめて有意義なスクールとなりました。夏、炎

天下でのスクール、競技にもかかわらず、多くの委員諸氏、会場を提供していただいた倶楽部の会員諸氏が熱心に指導にあたってくれました。あらためて敬意と謝意を表したいと思います。

他の分科委員会も各々の責務を十二分に全うする活動をいたしました。具体的には「事業報告書」をご覧下さい。

#### 財政基盤の強化

最後に関東ゴルフ連盟として今年度に検討、協議し、解決をしなければならない問題についてふれたいと思います。

それは財政問題であります。

これまでのKGAはともすれば、スポーツ競技団体としての活動にかけようがちでした。そもそも、ゴルフ同好の士が"より楽しくゴルフをプレーするため"の目的で結成したわけですから、これまで十分であったと思います。しかし時代は大きく変化し、その爱好者も冒頭で申しましたように今や9,000万人となりました。KGAもその組織のあり方、活動目的、内容、運営方法等は好むと好まざるにかかわらず、変わつていかざるを得ません。

真のアマチュア・ゴルファーの育成、明日のゴルフ界にならうジュニア・ゴルファーの育成、農業問題に象徴されるゴルフ場の環境問題、地域住民との交流等々、こういった諸問題の解決なしに明日のゴルフ界の展望は開けないと考えます。

そのためには申すまくでもなく、相当の活動資金が必要であります。"やらなければならぬ事"あるいは"やりとげたい事"を考えると、財政基盤は、はなはだ心許ないといわざるを得ません。

財政基盤の強化—その具体的な方法等は、総務・財務委員会、常務理事会、理事会等で検討し、皆様におはかりすることになります。

どうぞ、皆様も忌憚のないご意見をお寄せ下さり、ご協力くださいますよう切望いたします。

## ゴルフ界3本の矢 —日本ゴルフ関連団体協議会の設立—

関東ゴルフ連盟副理事長  
日本ゴルフ協会理事

古賀 始

聞き手 杉山 通敬(KGA広報委員)



前ページの今年度活動方針で、細川理事長がふれられたように、日本ゴルフ関連団体協議会が設立された。

時代の産物ともいえるが、その結成に深くかかわった古賀氏に、その目的、活動方針を語っていただいた。

—日本ゴルフ関連団体協議会というのが設立されたそうですが、その趣旨と活動方針についてお聞かせ下さい。

「以前から構想はあったんです。日本ゴルフ協会(JGA)は日本ゴルフ界の最高機関として活動をするわけですが、これはアマチュアスポーツとしてのゴルフの健全育成が大事な役割で、ゴルフ場の経営には建前から言ってタッチできない。経営のことは日本ゴルフ事業協会(NGK)が中心になって取り組んでいる。ほかにゴルファーの緑化促進協会(GGG)という団体があってこれは環境問題に取り組んでおり、もうひとつ日本パブリックゴルフ場協会(PGS)があって、ゴルフの普及につとめている。最近のゴルフ界の情勢からして4団体が個別にコトに当たるには事務が錯綜していて問題解決に時間がかかる

りすぎたりする。例えば農薬問題などがそうですね。JGAの所轄官庁は文部省、NGAは通産省、GGGは環境庁ですから各団体が一緒にになって対応することが出来にくかったわけです。それでね、皆で力を合わせて問題を解決していくのではないかということ

で関連団体協議会を設立することになったわけです」  
—毛利元就の“3本の矢”といったところですね。  
「おたがいに補完し合いながらやっていけば健全な姿になっていくと思うんです」

—正式な設立は今年の1月1日からでよろしいですか。

「ええ。設立は1月1日です。記者発表したのは2月28日ですが、4団体の会長・理事長に揃って出席して頂けて和やかなうちに記者会見が出来ました。なにせお忙しい方々(JGA細川護貞会長、NGK江戸英雄理事長、GGG中山素平会長、PGS桂田鎮男理事長)ばかりですから、時間の都合をつけ合わせていたのでは一堂に会せない。ですから何時から何時まで空けといて下さいなんて言わず、この日は朝から晩まで24時間全部空けて下さいって(笑)」

—具体的な活動方針はどうなってますか。

「やりたいことはいっぱいありますか、各分野で持ち味がありますから、おたがいに得意なテーマを持

ち寄って、解決しきれない点があつたら他の分野に補充してもらう。バックアップは皆でやろうということにしてあります。実務者レベルの理事会は問題があつてもなくとも月に1度は開くようになります。で、現在具体的にやっていることですが、環境庁からGGGへ水質調査の依頼がありましてね、どこか適当なゴルフ場はないかという相談を受けた。じゃあJGAが探しましょうということで、関東、関西、九州、それぞれ2カ所ずつ選んだ。排水溝に流れて溜まってる水や井戸水などを農薬散布の前、1日後、1週間後、雨が降った後といったように調査しています。結果はまだ出てませんが、数年来問題にされてるような水質汚染が報告されることはありませんと思いますね」

—北海道であった汚染事故をマスコミが過大報道したきらいがありますものね。

「あの事件だけですよ。恐らく今度の調査でもPPM(100万分の1)では出ない。PPB(10億分の1)なら出るでしょうが、これは1,000kmに対して1mmの割合でしかないわけですよ、PPBの単位出たら無害であるという証明になります」

—世間が歪んだ目でゴルフを見てるのを正す意味でも協議会が発足したのは喜ばしい。

「皆で協力していい方向へもってきたい。農薬と環境のことは焦眉の急を要することとしてね、農薬の規制は各都道府県でまちまちなんです。それで環境庁から資料をもらって全国で1本にまとまらないものか研究してみたいと思っています。ひとまずは各自治体の指針を集めてるんですが、これにはゴルフ場の支配人会の協力も必要なわけです。さらにはグリーン・キーパーの育成も求められる。日本の大学には“芝草学部”がない。芝は食料ではないので開発が遅れてるんですね、日本では、それにプレー費も高いのでたたかれる。しかし優秀なグリーン・キーパーを育成することは日本のゴルフ界全体のために是非とも必要です。ゴルフ協会が中心になってライセンス取得の機関をもうけたらどうかと思うんですが、これもやはりJGAだけでやれる問題じゃない」

関東には東日本グリーン研究所、関西には関西グリーン研究所、九州には西日本グリーン研究所があつてそれぞれ実績をあげています。特に関西は充実して

ますね。こういう各地の研究所と連絡を密にして、ゴルフ場のターゲットに関する開発研究機構もつくりたい」

—1人前のグリーン・キーパーになるにはどのくらいの経験が必要なものなんでしょう。

「基礎的知識は持っていたとして最低2年はほしい。どこかのコースに預かってもらうわけですが、春夏秋冬を2度経験しないと覚えきれないことがあるわけです。技能士ですからね、机上の計算だけでは1人前になれない」

—これだけゴルフ場が増えていますとグリーン・キーパーを立派に育てることも焦眉の急ですね。

「ええ。ほかにも、もっとパブリックコースを増やして安くプレー出来るようにしていきたい。国有地なり県有地につくってもらうように働きかけるにしても4つの団体が1つにまとまって持込めば迫力が出る。本当に“3本の矢”ですよ」

—ジュニアの育成とか、非常識なゴルフ場経営とか、暴力追放とか、いろいろなことが“問題”になりますね。

「ゴルフを正しく理解して健全な発展を遂げていくように力を合わせていきたい。別に足を引っぱってたわけではないんですけど、今まで4団体がそれぞれの分野だけの問題を取り組んでいた。もちろんそれはそれでお互いに貴重な経験をしてきたわけですが、その経験を生かしつつ全体的な視野に立って手を合せていく時期に来たと思うんです」

—ゴルフサミットと言ってもいいですかね。

「ええ、わたしはゴルフサミットだと思ってます。この間の記者会見で“4巨頭”が一堂に会してくれたわけですが、あとはわれわれがコトを進めていく番です」



平成2年2月28日のプレス発表(パレスホテル)

# 春は“ジュニア”とともに

— KGA春季ジュニア・ゴルフ・スクール —



レポート・宮元昭雄(KGA広報委員)

写 真・深井昌司(KGA広報委員)

春のKGAジュニア・ゴルフ・スクールが一斉に開校された。去る3月25・26の両日、千葉県の我孫子ゴルフ倶楽部、茨城ゴルフ倶楽部(茨城)、桜ヶ丘カントリークラブ(東京)、セントラルゴルフクラブ(茨城)、東京国際カントリー倶楽部(東京)の5会場にジュニア会員530名(申込数613名)が参加して、盛況に行われた。まさに“春はジュニアとともに”の印象を強くした幕開けでもあった。

KGAでは本年度の事業目標の目玉でもあるジュニア育成活動を本格化すべく、連盟内組織の拡大強化を図り、委員数も84名と大幅に増員した。その委員

会活動の円滑化を考えると同時に、具体的には従来の連盟主催のスクールを、春は5会場そして夏は10会場と規模を広げ、1スクール平均100~120名の参加人員を予定している。

このスクールにはプロゴルフ協会から技術面での指導ということで、プロ・ゴルファーやインストラクターの派遣が積極的に得られるようになった。今年は前年より以上の力強いシフトが噛み合って、充実したスクールが開かれることになったことは大変喜ばしいことである。

これまでとはともすれば、ジュニア育成という問題については、その理想や建前の点ではその必要性を誰もが口にしながらも、実際には子供たちにまでコースを解放することに昨今のゴルフ場事情から種々の無理があり、前向きの支援が必ずしも期待できな



▲8時よりクラブハウス前で開式 担当委員より諸注意が与えられる(東京国際)



▼スタート前はゴルフ体操で入念なウォーミングアップ(東京国際)

かった。ややもすれば、“笛吹けど踊らず”的感がなきにしもあらずであった。

しかし、ジュニア委員会の地道でねばり強い説得がようやく功を奏してきたといえよう。

KGAではこうした強力な支援体制をフルに活用して、なんとしても子供たちの夢をさらに大きく咲かせてやりたいと本年度の育成プランを策定した。特に今年は、連盟主催の競技会や春夏に開かれるスクールのほかに各ゴルフ倶楽部単位で、メンバーの子弟を中心にしたクラブ・スクールの開設という目標を設定して、その開校に全力を傾けるべく、委員会活動よりも意欲的であるようだ。

## ジュニアは腕も口も達者

たしかにクラブをかついで、コースをラウンドする時の子供たちの目は生き生きと輝いている。我孫子で行われたスクールでは背丈より長いバックをかづぐ幼い小学生の姿も何人か目に止まった。

松野 尚君(我孫子小3年)や松沢成吾君(駒込小4年)らは、中学や高校の上級クラスの生徒にも、負けず劣らずの頑張りようで、その熱心さは、プロや関係者たちと一緒に驚かせていた。早朝から夕刻までギッシリ詰まったスケジュールに、疲れを見せるどころか、ときおり「今日は調子が悪い」と、

いっぱいのセリフをはき、なみいる大人を笑わせていた。

ゴルフのむずかしさよりも、一流コースでラウンド出来たという喜びと、実際の体験を通じて味わえたその満足感の方が、より生徒たちにとって強く心に感じるものがあったのかも知れない。

何人かの同伴した父母もいた。もちろん子供たちを見つめる目には、不安と期待が複雑に交差していた。

同伴者のコース内立入りを禁じ、出来れば一人で来場するようにと、独立心を育てるためのこまかい配慮もとった。しかし、早朝の集合と遠方者にとっては父兄の同伴も止むを得ないことも知れないが、こうした問題も地域別に会場が増加されるようになれば漸時解決されてこよう。

特にスクールで目についたといえば、プロ・ゴルファーの神様ともいわれる林由郎プロが一人一人の子供たちの手足をとって、実技指導する姿が大きな感動を与えていたことだ。

林一門といわれる原兄弟プロ、佐藤精一プロ、海老原プロなど、男女12名のプロが熱心に指導に当たってくれたことは、プロ・ゴルファーの世界によくじゅニア教育の必要性についてその理解がより高まったとてもよいのかも知れない。5会場に配



▲練習場では派遣プロが グリップ スタンス アドレス スwing等を親切に指導(東京国際)



▼大御所 林由郎プロのアプローチのレッスン 委員も熱心に見つめる(我孫子)

したプロやインストラクターの数はなんと62名という多大な人数だった。

パンカーショットを練習していた低学年の生徒に「ホラ!こうして打てば球は高く上がるんだよ」と実技を見せていた林プロに向かって「ウーン、一流だな」と、その子供の素直な実感から出た言葉に周囲が思わず爆笑するという一幕もあった。こうしたエピソードも純粋なジュニア教育ならではのひと駒ともいえよう。有名プロに教わったということで、子供たちにとっては生涯忘れられない大きな想い出にもなることだろう。

### 1人でも多くの子供に機会を与える

このようなシーンの数々を目にするにつれ、出来ることならばスクールの拡大展開によって一人でも多くのジュニアたちにこのような機会を与えてやりたい想にかられた。それが大人たちの責務でもありゴルフ界関係者の責任でもある。

ジュニア育成委員会の松野京三委員長は、「ゴルフが上手になって貰うためにスクールを開くわけではない。ゴルフの楽しさをしっかりと学んで貰うためのスクール、だから行儀作法は家庭や学校の部活を通じて修得し、スクールでは実技を通して精一杯頑張って学んで欲しい」と訓話していたが、同伴して

いたある父兄の人は、「大変素晴らしいスクールだ。考えていたより実のある内容に親として満足だし心から感謝している」と、素直にその感想を聞かせてくれた。

ジュニア・ゴルファーは年々増加傾向にある。この春のスクールは600名以上のエントリーがあったし、夏はさらに1500名以上の参加者が考えられる。連盟主催の公式競技である関東ジュニア予選会のエントリーもその数1600名は確実といわれ、決勝ラウンドのはかにもジュニアの競技会を含めれば、関東地区だけでもその数は想像以上に急ピッチに増加していくことが明白である。

連盟がこのような事情にいち早く対応して、スクールの拡大など適切な対応を見せていることは当然とはいえるが、その活動の状況は委員たちの過重とも思えるボランティア活動に支えられていることを考えると、将来的には何らかの対策が必要であろう。

ただKGAの委員会まかせということなく、広くゴルフ社会に関与するあらゆる企業や人たちが揃って、このジュニア教育という原点にたってより幅広い協力と参画を期待すべきだし、とくにそうした意識の高揚が当面大きな課題のひとつでもあろう。その時期の到来の早からんことを切望したいものだ。



▲スコアカードにきちんとサイン アテストするのもレッスンの一つ(東京国際)



▼ラウンドレッスン セルフバッグでのプレーだが多少のアップダウンも苦にしない(東京国際)

### あまりにも悪すぎるゴルフ環境

「木をみて森を見ず」という諺がある。今日のゴルフ社会に対しては様々な批判が続出している。急激なゴルフ界の成長のヒズミであることは事実だが、経済成長の中で、スポーツだ、レジャーだと企業が急激な発展を遂げ、目前の利益に走っているのが実情だ。大衆スポーツといわれながら、現実には1回プレーをすれば諸経費を含めて3万円はかかる。一般的ゴルファーがスポーツとしてゴルフを楽しむには余りにも障害が多いすぎる。

ましてやジュニアたちにそのような環境の中でゴルフをマスターさせることなど不可能な話である。このような理想と現実の大きな違いの中で、あるべき姿を考え、且つ対処していくことは大変な苦労ではあるが、是が非でもゴルフ界の全体の協調のなかでこうした問題の解決を図って欲しいのである。

素晴らしいコースや豪華なクラブ・ハウスがあつても、メンバーや、プレーヤーの質が悪ければ、そこには健全なクラブ・ライフなど育つわけがない。単なる遊戯場と化さないように、今こそプレーヤーの質の向上を求める一方でゴルフクラブ自体が安定した良質のメンバーを持ち続けるためにも、わが子や孫たちに真のゴルフを教え伝えていく、その大い

なる遺産を承継していく必要性はいずれのゴルフ場も今日共通した問題点といえるのではないだろうか。

全国には1200余のJGA加盟倶楽部がある。もし1倶楽部が月に10名程度の親子でのプレーを認めるすれば、年間を通じてその数は膨大数になることであろう。

ぜひともクラブ理事者、関係者にこのことを考えてほしいものだ。

今年最大の活動目標としている「クラブ単位のスクールの開設」は、まさにこの趣旨にもどづくものであろう。テーマだけの設定に終らず、積極的な活動を開催し、協力の気運が高まる中でその成功の実を挙げて欲しいものである。

2日間に分けて行われた5会場におけるKGA春のスクールは、一部悪天候のところもあったが、子供たちはそれぞれ終日熱心に受講して家路についた。

この日に学んだことを次のチャンスに必ず生かすことであろう。

地域的にスクールの開設が広がれば、もっともつて充実した活動ができるであろう。

そのためには、KGAが主体となり、高ゴ連や新聞社やスポーツ協賛企業各社などの幅広い力を結集する必要のあることはいうまでもない。眞のジュニア教育が実を結ぶことの近いことを切望したい。



若者には「ラウンドでは物足りない『せめてあとハーフでも』という声が多くあった(東京国際)

「ジャパンカップ世界ジュニアゴルフ選手権大会」開催案内  
主 催 中部日本放送 中日新聞社 富士カントリーグループ  
後 援 JGA  
開 催 日 平成3年8月30日(金)~9月1日(日)  
コース 富士カントリー塩河倶楽部(岐阜県可児市)  
競技方法 54ホール・ストロークプレー  
年齢グループ 10歳以下24名(外国男女各6名、国内男女各6名)  
11~12歳(同上24名)  
13~14歳(外国男子7名、女子6名、国内男子6名、女子6名 計25名)  
15~17歳(同上27名)  
出場選手選考 13~17歳 日本および地区ジュニア選手権の成績による  
12歳以下は最新スコアカード5枚を6月末日まで地区連盟に提出、ジュニア委員会で選考する  
詳細はJGA(03-3215-0003)までお問い合わせ下さい。

## 関東ゴルフ連盟 平成3年度 役員・分科委員名簿

平成3年3月31日現在 (\*印は、新任)

## 役員

## 理事長

細川 譲貞(東京)

## 副理事長

中井 文治(東京) 古賀 始(茨城)  
松浦 均(習志野)

## 常務理事(15名)

相山 武夫(横浜) 福田 彰(鎌倉ハイランド)  
北村 順則(サザンクロス) 古茶 一之(草津)  
小宮山義孝(総武) 小山賢之助(青梅)  
松野 京三(ザ・レイクス) \*蜜沢 正吾(松本)  
\*鍋島 直要(東京) 尾関 秀夫(武藏)  
斎藤文志郎(フォレスト) \*庄野五一郎(飯能)  
滝沢 武(都賀) 田中 経策(グリーンバレー)  
\*渡邊満之助(船橋)

## 理事(31名)

海老原亜久寿(水戸グリーン) 福田 国三(浜松シーサイド)  
\*福嶋 寿克(塩原) \*藤原正男(諏訪湖)  
林 和雄(桜ヶ丘) \*平山 誠一(江戸崎)  
\*広中 三男(東宇都宮) \*人見 隆清(茨城シティック)  
神場多巳一(那須小川) 河西 幹一(セントラル)  
河尻 昭一(舞鶴) 桑原 正明(美野原)  
\*前田福三郎(ザ・鹿野山) \*前川 昭一(朝霧ジャンボリー)  
三木 春逸(鷹之台) 盛川 誠二(宇都宮)  
森村太華生(程ヶ谷) 南学 正昭(ミオス菊川)  
鬼沢 忠治(白帆) \*太田 哲男(プリンスランド)  
大坪 成彬(新千葉) 佐久目晋三(長岡)  
鈴木章司(豊岡国際) 玉井 英司(霞ヶ関)  
對馬好次郎(甲府国際) 内田 盛雄(相模)  
\*山田 寛(大浅間) \*横山 嘉一(新津)  
吉原 武(日光) \*吉岡文平(戸塚)  
吉澤 兵左(唐沢)

## 監事(2名)

岩本 勇(那須) \*笠原慶太郎(嵐山)  
顧問(4名) 西野 讓介(愛鷹) 鈴木 太郎(相模)  
\*勝又豊次郎(袖ヶ浦) \*金丸 富夫(取手国際)

## 総務委員会(10名)

## 委員長

中井 文治(東京)

## 副委員長

\*古賀 始(茨城) \*松浦 均(習志野)  
委員 福田 彰(鎌倉ハイランド) \*北村 順則(サザンクロス)  
松野 京三(ザ・レイクス) \*鍋島 直要(東京)  
尾関 秀夫(武藏) \*滝沢 武(都賀)  
\*對馬好次郎(甲府国際)

## 財務委員会(10名)

## 委員長

松浦 均(習志野)

## 副委員長

\*中井 文治(東京) \*古賀 始(茨城)  
委員 福田 彰(鎌倉ハイランド) \*北村 順則(サザンクロス)  
松野 京三(ザ・レイクス) \*鍋島 直要(東京)  
尾関 秀夫(武藏) \*滝沢 武(都賀)  
\*對馬好次郎(甲府国際)

## 競技委員会(38名)

## 委員長

\*尾関 秀夫(武藏)

## 副委員長

河西 幹一(セントラル) 新井 昌男(大利根)  
新井 安寿(武藏) 山田 八郎(東名)

## 委員

平山 誠一(江戸崎) 安藤 功(東名)  
土井 穎嗣(横浜) 平田 敬量(千葉)  
本多 隆将(東京) 市川 一夫(伊香保)  
飯塚 賢治(府中) 小池 尚(サザンクロス)  
紅露 昭通(筑波) 小山 敏男(青梅)  
楠本陽一郎(日光) 淀 義夫(龍ヶ崎)  
\*諸戸 精孝(霞ヶ関) \*中川好正(鷹之台)  
野口 正三(桜ヶ丘) 野本 俊夫(袖ヶ浦)  
大出 正義(新千葉) 大久保幸次(日高)大島 義治(岡部チサン) 折井 政信(穂高)  
織戸聰三郎(愛鷹) 関谷龍太郎(東宇都宮)\*鈴木 昭満(大利根) 竹下 修一(平塚富士見)  
田村 圭司(川崎国際) 田辺嘉一(飯能)  
\*牛込 右一(飯能) 山田 武男(白帆)  
山本 和夫(浜松シーサイド) 山崎 博靖(富士)  
山崎 滋男(スカイウェイ) 矢野 隆男(富士小山)  
吉野 統治(戸塚)

## ハンディキャップ委員会(26)

## 委員長

\*渡邊満之助(船橋)

## 副委員長

\*原田 英正(袖ヶ浦)

## 委員

斎藤文志郎(フォレスト) \*平山 誠一(江戸崎)  
桑原 正明(美野原) 吉澤 兵左(唐沢)  
伏見 博明(イオンレイクス) 萩原 剛(草津)  
服部 真吾(君津) \*原 伸瑠(湯河原)  
亀田 秀夫(日高) \*川又 茂三(那須小川)  
町田 孝平(長野) 三宅 通順(都賀)  
宮元 昭雄(総武) \*永田 真一(武藏)  
\*大原 慎二(霞ヶ関) 関根 宏一(鷹之台)  
\*鈴木 正治(府中) 佃 荘男(習志野)  
\*白井 則吉(我孫子) 山田 八郎(東名)  
山本 泰朗(セントラル) 横内 宏明(昇仙峠)

## 顧問

\*福田 彰(鎌倉ハイランド) \*古茶 一之(草津)

## コース・レート委員会(15名)

## 委員長

\*渡邊満之助(船橋)

## 副委員長

北村 昭夫(東京国際)

## 委員

生田 憲一(大利根) 松岡 和哉(東京よみうり)  
内藤 正幸(桜ヶ丘) 中川 好正(鷹之台)  
中野 弘治(芙蓉) 岡田 光正(嵐山)  
\*大久保 蕙(桜ヶ丘) \*奥延 通康(茨城)  
阪田 哲男(袖ヶ浦) 佐久間義雄(姉ヶ崎)  
\*竹岡 和彦(船橋) \*和田 光司(嵐山)  
顧問 \*福田 彰(鎌倉ハイランド)

## 月例競技委員会(20名)

## 委員長

斎藤文志郎(フォレスト)

## 副委員長

山崎 宣彦(霞ヶ関) 川島 英雄(高坂)

## 委員

平山 誠一(江戸崎) 久富 章嗣(浅見)  
\*市川 忠美(南摩城) \*小久保武夫(藤岡)  
\*小池 茂(宍戸国際) 松井 義明(日高)  
本吉 正彦(千葉) 中野 弘治(芙蓉)  
\*根本 太満(水戸) 野口 正三(桜ヶ丘)  
大久保 蕙(桜ヶ丘) 岡田 光正(嵐山)  
岡野 幸男(日高) 阪田 哲男(袖ヶ浦)  
鳴田 憲人(青梅) \*新村ヨシオ(千葉)  
\*竹林 守(ザ・レイクス)

## ジュニア育成委員会(84名)

## 委員長

松野 京三(ザ・レイクス)

## 副委員長

川島 英雄(高坂) 紅露 昭通(筑波)  
大久保 蕙(桜ヶ丘) 織戸聰三郎(愛鷹)  
大鷲 俊朗(柴) 田辺 嘉一(飯能)

## 委員

林 和雄(桜ヶ丘) 平山 誠一(江戸崎)  
村松貴己彦(沼津) 安藤 祥治(東松山)  
菅野 昇(ノーザン鶴ヶ原) 榎本 靖(戸塚)  
藤園 賢雄(阜月・鹿沼) 古屋 浩(東名厚木)  
\*浜田 治郎(我孫子) 日暮 俊明(扶桑)  
\*広中 三男(東宇都宮) 広瀬 康夫(程ヶ谷)  
久富 章嗣(浅見) 市川 一夫(伊香保)  
飯田 方至(我孫子) \*池田 義男(宇都宮)  
\*池頭 嘉弘(唐沢) 笠川喜久男(鷹之台)  
小池 尚(サザンクロス) 小池 茂(宍戸国際)  
小山 敏男(青梅) \*間宮 恒行(東名)  
松井 義明(日高) 三田 高裕(阜月・鹿沼)  
宮 長夫(習志野) \*宮元 昭雄(総武)  
森 肇(筑波) 本吉 正彦(千葉)  
中島 廣行(伊豆にらやま) 中野 弘治(芙蓉)  
野本 俊夫(袖ヶ浦) 野村 龍夫(我孫子)  
根本 太満(武藏) \*沼田 正巳(秦野)  
小川 透(岡部チサン) 斎藤 隆義(武藏)

## 新規加盟俱楽部紹介



### 1. 俱楽部名 富里ゴルフ俱楽部

住所 千葉県山武郡芝山町小原子773

電話 0479-78-0002

### 2. 開場年月日 平成元年6月10日

### 3. 理事長 米倉 功 大正11年5月25日生

俱楽部代表者 早川治良、高橋隆平

### 4. 俱楽部分科委員長

フェローシップ・エチケット委員長 森 稔

ルール・コンペティション委員長 前川武英

コース・グリーン委員長 松井隆治

ハンドイキャップ委員長 井関昌孝

プロ・キヤディ委員長 前田忠男

食堂・ハウス委員長 井上恒夫

### 5. 支配人 坂野 寛 昭和5年10月21日生

### 6. 俱楽部概要

当俱楽部は都心から約70km、東関東自動車道成田ICから約10分の至近距離にあり、車で約1時間前後で到着できる恵まれた立地に位置しております。

コースの所在する千葉県山武郡は文字通り、古くからの関東の銘木山杉の宝庫で、コース内のあちこちに残る手入れの行き届いた山杉の佇は、開場2年とは思えない風格と落着きを醸し出しています。

富里ゴルフ俱楽部の設計コンセプトは、“TAM ARTE QUAM MARTE”をベースとしています。直訳すれば、「力と同様に技(頭脳)も」となり、ゴルフゲームの真髄をいいえています。すなわち当コースの設計者であるアメリカの俊英ゴルフデザイナーJ・M・ボーレット氏は、ゴルフの原点であるスコットランドのリンクス思想を、この富里コースに再現しようと思し、見事に結実させたのであります。

すなわち富里を訪れるゴルファーたちは、長打を競うだけでなく、いかにしてそのホールを攻略するために、考えたショットを打つことができるという、頭脳を競い合う魅力を発見するはずです。設計者のボーレットは18ホールズをトッププロ、アマチュアがそれぞれの攻め方で挑戦することによって、ゴルフプレーの醍醐味を味わえるように、組立てています。さらに、「富里ゴルフ俱楽部はス

コットランドの思想、アメリカ流のデザイン、日本の高度な建設技術が一体となった、巧妙で芸術的傑作となりました」といい、彼の代表作と自負しています。

訪れるプレーヤーの誰もが感嘆するフェアウェーの波打つりねと、鏡のように滑らかで早いベントグリーンのアンジュレーションは、あるゴルフ評論家をして「緑の波涛の神秘」と感動させたほどです。中でもNo.7はやや打ちおろしのPAR3ですが、グリーン右手前の青い池を縁取る巨岩、奥の白いバンカー、グリーンのアンジュレーションを吹き抜ける大地の風は、シングルプレーヤーの開拓も、一瞬ひるむ風景です。

また、パーティの誘惑に魅されて果敢に挑戦すれば、ダブルボギー、トリプルの落とし穴が待っているNo.13PAR5やNo.15PAR4をはじめとして、どのホールも息の抜けないホールが続きます。

富里を訪れるプレーヤーは、回を重ねるにつれ、当コースの奥行きの深さに魅されていくはずです。

一方、純和風建築のクラブハウスで寛ぐクラブハウスは、年間50回近いクラブ競技を軸に、6つの分科委員会を中心になって『会員のための会員による俱楽部運営』をめざして、活発な活動を続けています。

## 鬼怒川森林カントリークラブ



### 1. 俱楽部名 鬼怒川森林カントリークラブ

住所 栃木県塩谷郡塩谷町大字船生8533番地

電話 0287-47-1511

### 2. 開場年月日 平成元年9月21日

### 3. 理事長 田淵節也

俱楽部代表者 理事長 田淵節也

理事 小畠幸雄

### 4. 俱楽部分科委員長

プレー委員長 川島章司

コース委員長 水口弘一

ハウス委員長 高野 孝

### 5. 支配人 青山忠雄 昭和2年7月3日生

### 6. 俱楽部概要

日光国立公園の中核をなす日光連峰を西に眺望し、北に鷲頭山を抱き、関東の奥座敷とも言われる、鬼怒川、川治温泉郷を控えて立地する、「鬼怒川森林カントリークラブ」。交通は東京箱崎ICから

荻原 知昭(草月・佐野) 大川 聰(霞ヶ関)

奥延 通康(茨城) 大野 清純(高坂)

大島 義治(岡部チサン) 大竹 徹(高根)

桜本 隆(南総) 鳴田 憲人(青梅)

多々良義成(武藏) \*高安 信行(セントラル)

竹林 守(ザ・レイクス) 山下 進(龍ヶ崎)

山崎 一(宍戸国際) 山崎 博靖(富士)

山崎 滋男(スカイウエイ) 矢野 正彦(鳥山城)

矢野 隆男(富士小山) 安間 章浩(成田スプリングス)

### 女子担当委員

\*甘槽 澄子(東千葉) \*五十嵐昌子(相模)

加藤 勝栄(相模原) \*宮前 康子(東筑波)

田村千代子(鎌ヶ谷)

### 参与

荻原 武(草津) 平林 平治(諏訪湖)

川崎 三郎(フォレスト) 小松 幹司(袖ヶ浦)

狐塚 敏雄(塩原) 松本 秀夫(中津川)

水野 武(筑波) 佐藤 長夫(甲府国際)

広瀬 雅敏(ミズノ) \*江藤 浩一(高芝芝浦工大)

橋本 賢一(高ゴ連埼玉栄高)

真橋 幹夫(高ゴ連駒澤高)

西村 一郎(高ゴ連慶應高)

鈴木 功(高ゴ連田帳東女子高)

盛川 誠二(宇都宮) 佐久目晋三(長岡)

坂口 弘征(戸塚) 坂本 章一(霞ヶ関)

澤村 三郎(伊豆国際) \*玉置 忠夫(横浜)

### 顧問

勝又豊次郎(袖ヶ浦)

### 参与

荻原 武(草津) 畑 俊平(立川国際)

平林 平治(諏訪湖) 小松 幹司(袖ヶ浦)

狐塚 敏雄(塩原) 水野 武(筑波)

森 英(千葉) 中村 芳之(総武)

佐藤 長夫(甲府国際)

## グリーン委員会(17名)

### 委員長

古賀 始(茨城)

### 副委員長

小宮山義孝(総武)

### 委員

海老原亀久寿(水戸グリーン) 佐久目晋三(長岡)

浅沼 勉(サニー) 藤原 清(都賀)

福山 琢磨(総武) 坂本 章一(霞ヶ関)

鈴木 正治(府中) 渡辺 悅志(沼津)

山崎 一(宍戸国際)

### 参与

荻原 武(草津) 平林 平治(諏訪湖)

平本 精則(東京国際) 角田 三郎(程ヶ谷)

大久保 昌 柳 久

## コース選定委員(7名)

### 委員長

\*鍋島 直要(東京)

### 副委員長

\*田辺 嘉一(飯能)

### 委員

\*北村 昭夫(東京国際) \*岡田 光正(嵐山)

阪田 哲男(袖ヶ浦) \*佐藤利永子(入間)

\*高木 邦雄(相模)

## 広報委員会(9名)

### 委員長

\*庄野五一郎(飯能)

### 副委員長

深井 昌司(飯能)

### 委員

船橋 一芳(江戸崎) 石川 博英(嵐山)

片山 晴美(越生) 北川 祐司(那須)

宮元 昭雄(総武) 杉山 通敬(鬼怒川)

和田 憲一(藤ヶ谷)

## 税対策委員会(22名)

### 委員長

小宮山義孝(総武)

### 副委員長

北村 順則(サザンクロス)

### 委員

相山 武夫(横浜) 古茶 一之(草津)

田中 経策(グリーンパレイ) 林 和雄(桜ヶ丘)

## 新規加盟俱楽部紹介

東北自動車道、日光・宇都宮道路の大沢I.Cを経て、約1時間50分、電車の便は、東武線浅草駅より下今市駅で下車して、タクシー、クラブバスで約15分、鬼怒川温泉にお泊まりになり、ゆったりとお湯に浸かっていただいでもお車で約15分。東京からの日帰りでも、一泊してのプレーでもお楽しみいただけるゴルフコースです。森林の名にふさわしく、自然の杉、松をふんだんに残し、また、ダイナミックに広がるフェアウェイと、微妙なアンジュレーションをもつ大きなワングリーンのコースです。

特に、アウト7番ホールは、フェアウェイ中央を横切るクリークが、左山添いに流れ、グリーンを守るかのように、グリーン手前で池になり、さらにグリーンを取り囲むように流れています。非常に戦略性に富んだ528ヤード、ゆるやかな左ドッグレッグのロングホールです。

さらに、インに入ると、206ヤードとやや距離のあるショートホールの17番が待ち受けています。ここもグリーン手前から左側を、修景池がガードしている、グリーン奥にはバンカーが控えて、クラブの選択に一考を要するホールとなっています。

コース全高低差35mと、森林という名を冠したコースにしては、各ホール自体は、比較的フラットなコースであるが、微妙な起伏をみせるフェアウェイとグリーンは、自然の美しさの中に秘められた豊かな戦略性を持って、皆様をお待ちしております。

ラウンドの後は、ゆとりと空間を大切に、そして上品な色調に格調高くまとめ上げられたクラブハウスで、ゆっくりと各ホールを振り返りながらお寛ぎいただけます。

### 八ヶ岳高原カントリークラブ



#### 1.俱楽部名 八ヶ岳高原カントリークラブ

住所 長野県南佐久郡南牧村大字海尻  
電話 0267-93-2011~2

#### 2.開場年月日 昭和39年8月8日

#### 3.理事長 丹羽春雄 明治42年3月14日生

#### 4.俱楽部分科委員長

コース委員長 森 貴一

キャディー委員長 橋本 超

ハウス委員長 山田義郎

#### 競技委員長 川畠信義

#### 5.支配人 斎藤喜一郎 昭和12年9月6日生

#### 6.俱楽部概要

八ヶ岳高原カントリークラブは日本で最も高い所に位置するゴルフ場です。

八ヶ岳連峰の東南に抜がる高原に造られたコースは、八ヶ岳、浅間、秩父、甲斐、更に南アルプスの山並が360度に亘りパノラマの如くに展望し得て「創造の神がゴルフ場にするために拵えられた地形」と絶賛されています。

4月中旬すぎオープンの頃の早春の風趣、5~6月の新緑とコースを彩る連華つつじ、7月~8月の盛夏を忘れる涼味、初秋、晚秋の情緒が特に都会人のオアシスとして人気を博し、「典型的なリゾートコース」とと言われております。

小松原三夫氏の設計により、高原のコースでありながらアップダウンの少ない平坦な、広々としたフェアウェイ。グリーン、フェアウェイともペントグラスでオープン時から芝の青さが目に沁みます。老若男女、ピギナーにも安心で、またシングルプレーヤーにとってもメンタルな興奮があります。

コースの特徴を象徴するかのように各ホールには例えば、1番千曲川、4番小松原、7番、幸運の空、9番八ヶ岳、10番お富士さん——フェアウェイの彼方に富士が遠望できる——、13番山の神、14番茶屋の松、18番大花道、などニックネームが味わいをもたらしてくれます。

クラブハウス——チロル高原の民家に似た白壁作りか、素朴なロマンを漂わせております。

ロッジ——クラブハウスの近くに、4棟、洋和室で約90余名のお客様にご利用頂けます。

交通は中央自動車道（須玉I.C下車）で新宿から約2時間半、関越道—佐久経由で東京から3時間、又JR中央線では小淵沢で小海線に乗り換え日本一高い高原列車の旅を楽しむこともできます。



#### 1.俱楽部名 東松苑ゴルフ俱楽部

住所 栃木県足利市駒場町712番地  
電話 0284-91-1661

#### 2.開場年月日 平成元年10月15日

#### 3.俱楽部代表者 中島 嶽 昭和3年3月5日生

## 新規加盟俱楽部紹介

#### 理事長 青木久頼

#### 理事 本山英世

#### 4.俱楽部分科委員長

競技委員長 藤井 務

ハンディキャップ委員長 岩崎行雄

企画委員長 神谷正一

エチケット委員長 古川俊隆

#### 5.支配人 今泉喜一郎 昭和12年6月24日生

#### 6.俱楽部概要

歴史に名高い將軍足利尊氏の古里、足利市南端に位置する東松苑ゴルフ俱楽部は、多くの人々が、見たまえみたまうほどに見てみたい

#### 景勝千里東松の苑

と詠むほどに、まさに景勝雄大にして関東平野を一望。画絵にも勝るゴルフ場として、すこぶる評判が高く、その声に評価されるように、すでに格調高いコースと認められている。

かくて此の事実を裏付けるかのように、徹頭徹尾美観を追及、ひたむきに格調を追う経営姿勢は、メンバー尊重主義に徹し、進入路に守衛所を設け一般外米の入場を認めていない。交通の便に於いても高速東北自動車道、佐野インターチェンジから約15分の至近距離に在り、東武伊勢崎線浅草発ロマンスカーを利用しても、所要時間約1時間。館林駅で下車して、コースまで20分程度という首都圏に最も近いゴルフ場として、極めて有利な立地条件に恵まれている。しかも北方を背に山面を切り開いた用地は社主中島巣が心根を傾けて造形したコースだけあって、見事な完成美は見る人を幻想世界へと誘うほどの鮮やかなレイアウトとなっている。しかもそのコースの要所には一本数千万すると言われている古木が絵にしお美しさを競い、プレーヤーの驚嘆を誇っている。

労苦を重ね10年の歳月を費やし、長年のゴルフ道の経験を土台に造り上げられたコースは、さながら大名屋敷の庭園をしばせるたたずまいとなっている。眼を転じれば至る所、四季折々の鮮やかに咲き乱れる花木と、人工世界一を誇る幅100m二段滝、そして三本滝は見る者に飽く事をさせない。そして戦略性に富む美しいフラットなコースは適宜に池を配し、やさしく難しく極めて重宝感を味わえるコースに仕上げられている。総体的に、人生苦楽を造成計画に重点を置き、アウトを苦、インを楽としたコースレイアウトが特徴。

またクラブハウス内浴室は男性風呂、女性風呂がゆったりとした同等のスペースであることから、もっぱら素晴らしいとの好評を得ている。ハウス

内食堂からマスター室に至る地下4.5m越路は落ち着きのある雰囲気に包まれ、コースもクラブハウスも全体的に自然美と人工美と機能美を巧みに調和した芸術的な印象がゴルフライフを十二分に味わえるようにと配慮されて、これが人気の要因を大にしている。

### 東都埼玉カントリー俱楽部



#### 1.俱楽部名 東都埼玉カントリー俱楽部

住所 埼玉県秩父小鹿野町長留1860番地  
電話 0494-75-0881

#### 2.開場年月日 平成元年3月29日

#### 3.理事長 宮本市郎 大正11年6月22日生

俱楽部代表者 宮本市郎

#### 4.俱楽部分科委員長

コース委員長 野部晃司

プロ・キャディー委員長 飛山一男

ハンディキャップ委員長 都築恵一

競技委員長 矢野定照

ハウス委員長 田中昌治

フェーローシップ委員長 田村富美夫

#### 5.支配人 白石博文 昭和21年6月26日生

#### 6.俱楽部概要

秩父連山の雄大な自然に囲まれ、武甲山を一望できる景勝の地に位置する当俱楽部は、東京方面より関越自動車道利用で練馬LCより花園LC経由で約1時間20分。電車御利用の場合は、西武線西武秩父駅よりクラブバスで約15分のところにございます。

約32万坪の用地にレイアウトされている18ホールは、積極的な攻めのゴルフと高度なテクニックも十分楽しめる様、フラットなコースながらも、バンカー・グリーンのアンジュレーション等が巧みに配置され、ゴルフ本来の醍醐味を満喫して戴ける様つくられたコースでございます。

そして、過去にあまり例のないカナディアンログハウス（丸太組構法）によるクラブハウスは、秩父の山並を背景に、ログハウスの持つ木の温もり、味わいに深さを一層際立たせ、御来場される方々にゆったりと広く戴ける事と思います。

運営につきましては、あくまでもメンバー一本位に徹し、真のゴルフライフを十分楽しんで戴けます様努めております。

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

## 第43回通常総会 議事録

第43回通常総会は、平成3年2月22日(金)午前10時30分より、東京都千代田区紀尾井町4-1ホテルニューオータニにおいて開催された。出席は、加盟俱楽部417のうち、委任状を併せて292俱楽部、上程された各議案は慎重審議の結果、次記のとおり決議された。

### 記

連盟規約第17条により、細川理事長が議長となり、総会成立の報告を行い、開会を宣言し、議事に移る。

#### 第1号議案 平成2年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件

細川理事長より、平成2年度事業報告の後、議長の指名を受け、事務局長収支決算報告、財産目録を説明。岩本 勇監事より、監査の結果、正確適正に処理されていた旨の報告があり、全員異議なく原案どおり承認可決した。

#### 第2号議案 平成3年度一般会計・特別予算案の承認を求める件

議長の指名を受け、事務局長より、詳細な説明があり、全員異議なく、原案どおり承認可決した。

#### 第3号議案 財日本ゴルフ協会平成2年度事業報告、および決算報告、ならびに平成3年度事業計画、および予算に関する件

事務局長より3年度、事業計画及び予算について、平成2年12月19日の財日本ゴルフ協会理事会において審議、承認され、すでに加盟俱楽部に送付済みであること、また、2年度の決算については、3年2月26日に開催される理事会において審議、決定をみる予定であるとの報告がなされ、全員これを承認した。

#### 第4号議案 役員全員任期満了につき改選の件

平成2年11月2日の常務理事会において、連盟規約細則第1条に基づき、選任された11名の各都県理事候補推薦委員より、推挙された次記47名候補者は、各都県の総意によるものと判断し、細川議長、氏名を発表、議場に譲ったところ、全員異議なくこれを承認した。

新潟県 斎藤文志郎、佐久晋三、横山嘉一

長野県 藤原正男・蜜沢正吾・山田 實  
山梨県 田中經策・對馬好次郎  
群馬県 福田 彰・古茶一之・桑原正明・  
太田哲男

栃木県 滝沢 武・神場多巴一・盛川誠二・  
吉原 武・吉澤左左・広中三男・  
福嶋寿克

茨城県 古賀 始・河西幹一・海老原亀久寿・  
鬼沢忠治・平山誠一・人美隆清

埼玉県 細川護貞・尾関秀夫・庄野五一郎・  
玉井英二

千葉県 松浦 均・小宮山義孝・大坪成彬・  
河尻昭一・三木春逸・渡邊満之助・  
前田福三郎

東京都 小山賢之助・林 和雄

神奈川県 相山武夫・森村太華生・内田盛雄・  
吉岡文平

静岡県 北村順則・福田国三・鈴木章司  
南学正昭・前川昭一

新理事選任の後、総会を休憩し、別室にてただちに理事会を開催、互選の結果、細川護貞氏を理事長として選任した。

また、新理事長に一任された、学識理事および監事については、次記の諸氏を指名し、これを承認した。

学識理事 中井文治・松野京三・鍋島直要

監事 岩本 勇・笠原慶太郎

#### 第5号議案 財日本ゴルフ協会理事候補7名、および監事候補1名の推薦に関する件

細川理事長に指名一任されることを提案し、全員異議なく賛成。次記の諸氏を指名し、これを承認した。

#### 連盟推薦理事候補者

細川護貞、中井文治、古賀 始、松浦 均、福田 彰、  
松野京三、鍋島直要

連盟推薦監事候補者 岩本 勇

以上をもって、全議案の審議を終了、細川議長11時30分閉会を宣した。

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

## 平成3年度 第1回理事会 議事録

日 時 平成3年2月22日(金)午後12時50分

場 所 ホテルニューオータニ 楓の間

出席者 細川理事長、中井、古賀、松浦、福田、北村、古茶、小宮山、小山、松野、蜜沢、鍋島、尾関、斎藤、滝沢、田中、渡邊、海老原、福嶋、藤原、林、平山、広中、人見、神場、河西、河尻、桑原、前田、前川、南学、太田、佐久目、庄野、山田、横山、吉岡、吉澤各理事、岩本、笠原監事

細川理事長、議長となり開会を宣し、順次議題審議を行った。

### —討議及び決議事項—

#### 1. 平成3年度、4年度副理事長選任の件

選出方法について譲ったところ、理事長一任となり、次のとおり指名、これを承認した。

中井 文治 古賀 始 松浦 均  
尚、3副理事長の任務分掌は、以下のとおりであることを確認した。

中井副理事長 総務担当  
古賀副理事長 競技運営担当  
松浦副理事長 財務担当

#### 2. 平成3年度、4年度常務理事選任の件

選任方法について譲ったところ、理事長一任となり、次の15名を指名、これを承認した。

相山武夫、福田 彰、北村順則、古茶一之、小宮山義孝、小山賢之助、松野京三、蜜沢正吾、鍋島直要、尾関秀夫、斎藤文志郎、庄野五一郎、滝沢 武、田中經策、渡邊満之助

#### 3. 顧問選任の件

細川理事長、規約第24条にもとづき次記の2名を顧問として推挙、これを承認した。

勝又豊次郎、金丸富夫  
尚、内規として今後は、理事として8期(16年)以上在籍した者を推挙することを提案、全員異議なくこれを承認可決した。

#### 4. 平成3年度分科委員長選任の件

選任方法について譲ったところ、理事長一任となり、次記の者を指名、これを承認した。

総務委員長 中井 文治  
財務委員長 松浦 均  
競技委員長 尾関 秀夫  
ハンディキャップ委員長、コース・レート委員長 渡邊満之助  
月例委員長 斎藤文志郎  
ジュニア育成委員長 松野 京三  
広報委員長 庄野五一郎  
税対策委員長 小宮山義孝  
グリーン委員長 古賀 始  
コース選定委員長 鍋島直要

#### 5. 平成3年度、関東オープン準備委員会設定の件

これまでどおり、特別委員会として設定することを全員異議なく承認した。また、委員長については、尾関秀夫競技委員長が選任された。委員は、尾関委員長に一任することを承認可決した。

#### 6. 平成3年度分科委員選任の件

選任方法について譲ったところ、理事長、副理事長、各委員長に一任することを承認可決した。  
上記決定に従い、3月8日に委員長会議を開催し、各分科委員を選任、名簿発送をもって、加盟俱楽部に伝達することを確認した。

#### 7. 財日本ゴルフ協会、平成3年度分科委員候補選任の件

選任方法について譲ったところ、理事長、副理事長に一任することになった。決定に従い、候補者名簿を2月26日のJGA理事会に提出し、加盟俱楽部にはJGAより名簿によって伝達することを確認した。

#### 8. 後援競技承認の件 2月22日現在、申請のあった下記競技の後援を承認した。

「第10回茨城県社会人アマチュアゴルフ選手権大会」  
主催 茨城新聞社  
予選 3月25日 水戸・ゴルフ・クラブ  
3月26日 白帆カントリークラブ  
3月29日 金砂郷カントリークラブ  
決勝 5月16~17日 水戸グリーンカントリークラブ

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

「第3回埼玉県ダブルスゴルフ選手権大会」

主催 埼玉新聞社

競技日程 4月5日 越生ゴルフクラブ

「第8回埼玉県ミドルゴルフ選手権大会」

主催 埼玉新聞社

予選 5月10日 大宮国際カントリークラブ

5月17日 ノーザンカントリークラブ／錦ヶ原ゴルフ場

決勝 6月7日 岡部チサンカントリークラブ／岡部コース

「第5回埼玉県シニアゴルフ選手権大会」

主催 埼玉新聞社

競技日程 5月10日 大宮国際カントリークラブ

「'91よこはまオープンゴルフトーナメント」

主催 神奈川県新聞社、TVKテレビ、横浜国際ゴルフ俱楽部

競技日程 7月18日～21日 横浜カントリークラブ／西コース

尚、「第1回報知女子アマゴルフ関東俱楽部対抗選手権大会」(主催 報知新聞社)については、連盟主催「関東俱楽部対抗競技」とも関連があるので、関係委員会にて検討・審議の上、決定することとなり保留とした。

以上をもって、議題審議を終了、細川議長13時30分閉会を宣した。

## 平成3年度 第1回常務理事会 議事録

日 時 平成3年度3月25日(月)正午

場 所 JGA会議室

出席者 中井・古賀・松浦各副理事長、相山、福田、北村、蜜沢、尾閑、斎藤、庄野、滝沢、渡邊各常務理事、

陪席 神場、河尻各理事(新規加盟申請俱楽部推薦)

細川理事所用のため欠席、中井副理事長議長となり午後12時20分閉会を宣し、順次議題審議を行った。

### —討議及び決議事項—

#### 1.新規加盟申請俱楽部審査の件

3月25日現在、加盟申請のあった次記の5俱楽部について慎重審議の結果これを承認した。

- ①富里ゴルフ俱楽部(千葉)
- ②鬼怒川森林ゴルフクラブ(栃木)
- ③八ヶ岳高原カントリークラブ(長野)
- ④東松苑ゴルフ俱楽部(栃木)
- ⑤東都埼玉カントリー俱楽部(埼玉)

以上5俱楽部の加盟によって総加盟俱楽部数は422となった。

#### 2.財日本ゴルフ協会普通会員入会審査の件

3月25日現在申請のあった、豊東照高氏他8名の入会について慎重に審議し、これを承認、JGA入会審査委員会に申請することにした。

#### 3.平成3年度各分科委員会副委員長、および委員選任の件

2月22日開催の平成3年度第1回理事会において上記の件は、理事長、副理事長、委員長会議に一任されていたが、別紙(8頁参照)の分科委員を選任、これを承認した。

#### 4.後援競技承認の件

次記4競技の後援を承認した。

- ①第1回 報知女子アマゴルフ関東俱楽部対抗選手権
- ②第1回 埼玉県ジュニア・ゴルフ選手権大会
- ③第1回 静岡県アマチュアゴルフシニア選手権大会

④'91 茨城オープンゴルフトーナメント

尚、①については、当面連盟主催競技とすることは無理であるが、昨今の女子ゴルファーの増加にともない開催を希望する声もきかれるので、その際は報知新聞社と協議することを承認した。

#### 5.平成3年度俱楽部対抗地区予選、大会会長の件

次記の常務理事、理事が大会会長の任にあたることを承認した。

東京地区 小山 賢之助

千葉第1 渡邊 満之助

千葉第2 松浦 均

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

神奈川 相山 武夫

茨城第1 海老原亀久寿

茨城第2 松野 京三

栃木第1 滝沢 武

栃木第2 盛川 誠二

群馬 福田 彰

静岡 北村 順則

長野 蜜沢 正吾

山梨 田中 紹策

新潟 斎藤 文志郎

#### 6.俱楽部対抗開催方式変更について

尾閑競技委員長より、次記の報告、提案がなされた。

「平成3年度の予選参加俱楽部数は260、決勝進出俱楽部は規定上40である。次年度以降参加俱楽部が増加することは必定であり、そうなると現行開催方式では物理的に不可能となる。このことを見越し、平成2年度競技委員会は、加盟俱楽部にアンケート調査を行った。それをもとに、3年度正副委員長が集まり検討、協議した。選択肢として考えられるのは、

イ、各都県だけの競技をし、決勝競技はやめる  
ロ、現行の出場者A、Bクラス各4名を3名とする。  
ハ、決勝進出は1ブロック1チームとする。

の3つであるが、本競技の歴史、目的あるいは加盟俱楽部の意見を考慮すると、ハの方法が妥当と思う。」

以上の提案をめぐり各常務理事より、活発な意見、提案がなされ、次記のことを確認した。

①平成4年度より、予選はこれまでどうり各都県において開催するも、決勝進出は1ブロック1チームとする。

②1ブロックの出場俱楽部数は23までとし、それをこえた場合は2分割とする。また、46をこえた場合は3分割する。

③この方式をとれば、決勝進出俱楽部は14となるが、これによって18ホールのコースで決勝競技の開催が可能となり、予選、決勝とも競技運営は円滑のものとなる。さらにブロック数が増えた場合は、出場選手人数等の検討をする。

以上の事項を基本的に承認し、これをもとに、競技委員会、関係委員会にて具体的な実施規定を策定し、検討協議することになった。

#### 7.分科委員出張旅費規定について

事務局案の一部を改正し、これを承認、今年度より実施することになった。

#### 8.平成4年度以降の地区オープン開催方式について

中井副理事長より以下の報告、提案がなされ全員これを確認した。

日本プロゴルフ協会は、

イ、全国規模であること ロ、賞金総額は5,000万円以上であることと決定した。そのことにより、地区オープンの開催方式について、プロ協と協議交渉を続けるかたわら、JGAとして検討を重ねてきた。その結果、平成3年度は、現行の開催方式をとるもの、4年度以降は趨勢としてプロ協の決定どうりに開催せざるを得ないと考える。具体的には、今後さらに検討を続けるが、過日のJGA競技委員会で、

①平成4年度より各地区連盟持ち回りとする。

②名称は開催地区的連盟オープンとし、主催は地区連盟、JGAは共催あるいは後援とする。

③主催年度以外のオープンは、その開催、規模等、各地区連盟の判断にまかせる。

④平成4年度は関東、5年度は九州、以降関西、中部、北海道、中・四国の順とする。但し、東北が独自開催可能となれば、平成7年とする。

以上の事を決定した。KGAとしても早急に検討協議を開始するが、そのための特別委員会(関東オープン準備委員会)を結成することとし、総務委員会において委員を選任したい。

以上をもって審議を終了、中井議長13時50分閉会を宣した。

## 平成3年度 第1回競技委員会 議事録

日 時 平成3年3月18日(月)正午

場 所 出版クラブ会館 会議室

出席者 尾閑委員長、河西、新井(昌)、新井(安)、山田(八) 各副委員長

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

- 1班 紅露、平田、平山、楠本、湊、中川、  
関谷、山田、山崎(益)  
2班 市川、本多、飯塚、小山、野口、大  
久保、大島、田辺、牛込  
3班 土井、小池、竹下、山本、山崎(博)、  
矢野、吉野 各委員

## —討議及び決議事項—

会議に先立ち、古賀前委員長より、辞任の挨拶がなされ、新委員長の尾閑委員長の紹介がなされた。

尾閑委員長挨拶の後、以下の今年度方針が示された。

### 1.3年度 活動方針

「基本的に、前年度までの方針を順守する。委員は連盟を代表していることの自覚をもって言動に心してほしい。「なれと惰性」を排除し、競技の運営を通じ開催俱楽部に範を垂れてほしい。」

### 2.副委員長専任の件

尾閑委員長より、3月8日に行われた委員長会議にて、前年同様、河西幹一、新井昌男、新井安寿、山田八郎の4氏が再選された旨の報告がなされた。

### 3.班編成および班長の件

尾閑委員長より説明がなされ、全委員配布資料のとうり決定した。

### 4.各競技競技委員長、副委員長、担当班の決定

尾閑委員長より、各副委員長と打ち合わせの結果、別紙資料のとうり決定された旨の報告がなされ、全委員これを承認した。

### 5.連盟主催競技実施規定の件

#### ①俱楽部対抗開催方法式について

尾閑委員長より、次記の報告、提案がなされこれを確認した。

「平成3年度の予選参加俱楽部数は260、決勝進出俱楽部は規定上40である。次年度以降参加俱楽部が増加することは必定であり、そうなると現行開催方式では物理的に不可能となる。このことを予想し、昨年度競技委員会は、加盟俱楽部にアンケート調査を行った。それをもとに正副委員長が具体案を検討し、常務理事会、理事会に上程し、決定したい。」

#### ②関東オープン開催方式について

尾閑委員長より、次記の報告提案がなされ、これを確認した。  
「日本プロゴルフ協会は、平成元年公式公認競技について、①全国規模であること、②賞金総額5,000万円以上であること、と決定している。そのことにより、地区オープン開催方式について、JGA、プロ協会間で、検討協議を重ねている。近々具体案が各地区連盟に示されることになるので、それを待ちたい。」

#### 6.競技細則について

尾閑委員長より、以下の報告、提案がなされ、これを承認した。  
「ローカル・ルール原案、および競技管理基準については、日本ゴルフ協会の方針に合わせ、ほぼ同一のものを使用する。なお、使用球の限定については、グランドシニアに限り、規則第33条7項を適用する。」

#### 7.出張手当額の変更について

事務局より、以下の報告がなされ、これを確認した。  
「平成2年度常務理事会、理事会の決定にしたがい、今年度より、委員出張手当は、交通費5,000、もしくは実費支給となる。」  
以上をもって議事を終了、後に各班毎に打ち合わせを行った。

### 平成3年度 第1回ジュニア育成委員会 議事録

日 時 平成3年3月11日(月)15時

場 所 ダイヤモンドホテル

出席者 松野委員長、川島、紅露、大久保、織戸、大鷲、田辺、副委員長、菅野、榎本、藤園、古屋、平山、笠川、小池(茂)、小池(尚)、松井、中島、野本、荻野、荻原、大野、大島、大竹、鳴田、竹林、山下、山崎(一)、山崎(博)、矢野(正)、矢野(隆)、広瀬、浜田、沼田、間宮、池田、池頭、広中、加藤、田村、宮前、甘糟、五十嵐、各委員、川崎、小松、佐藤、山本、各参与

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

## —討議及び決議事項—

### 1.今年度活動方針について

松野委員長より次記の方針が示され、全員これを了承した。  
「昨年度は、活動目標を①関東ジュニア競技②KGA主催ゴルフ・スクール③加盟俱楽部のジュニア教室の3本柱とし、諸氏の協力を得て充実した活動を行った。①、②については、定着したと思うが、③については、未だしの感があり、今年度の重点活動目標としたい。また、ジュニアのゴルフ場利用税の免税、加盟俱楽部での特別料金の設定などにも取組みたい。諸氏のいっそうの協力、尽力を要請したい。」

### 2.副委員長、班長、班編成について

松野委員長より次記の提案がなされ、全員了承した。  
「今年度は、春季ジュニアゴルフスクール5、夏季ジュニアゴルフスクール10、関東ジュニア参加者1500名を予定している。したがって、3月8日の委員長会議において、委員数を、前年より10名増やし84名とした。」

副委員長については、前年同様、紅露昭通、川島英雄、大久保蕃、織戸聰三郎、大鷲俊朗、田辺嘉一の6氏が選任された。委員は別紙(8頁)のとおりである。

班長、班編成については、正副委員長会議において、諸活動を円滑に運営できるよう検討、協議して決定したい。

### 3.春季KGAジュニア・ゴルフ・スクールについて

別紙担当会場を決定した。

### 4.夏季KGAジュニア・ゴルフ・スクールについて

別紙10会場で開催することを全員確認した。

### 5.関東ジュニア予選・決勝競技について

別紙の日程及び俱楽部にて開催するが、各会場競技委員長については、正副委員長会議において、決定することとした。また、今年度より開催方式の一部が変更されることを、松野委員長より報告され全員これを了承した。

### 6.財日本ゴルフ協会ジュニア会員制度について

事務局長より、3月8日現在会員数1,241名、KGA登録者は、約800名との報告がなされた。

なお、4月以降、高ゴ連加盟店が、会員となるので、KGAは約3,000名の入会が予想される。

### 7.その他

最近のジュニア・ゴルファーのマナー及び今後の指導方法について、委員より活発な意見が出された。

## '91関東オープン第1回準備委員会 議事録

日 時 平成3年3月27日(水)正午

場 所 JGA会議室

出席者 尾閑委員長、中井副理事長(KGA)  
河西、相沢、土井、玉置、神林、中本、  
佐藤(国) (以上横浜カントリークラブ)、  
佐藤(事務局)、各委員  
陪席 青山(NHK)、鈴木(DSE)  
三輪(スポニチ)

## —決議事項—

### 1.開催方式

現行開催方式より次記の事項が改正されたことを確認した。

イ、これまでNHK放送権契約は、日本オープン、日本女子オープン、関東オープンの3オープン一括契約であったが、今年度より別々とし、金額も1500万円から2000万円となった。

ロ、予選ラウンド2日間は衛星TV実況放送であったが、今年度より、決勝ラウンド(土、日)のみ総合TVで放映されることになった。

尚、未使用コース(東)の大会期間中のクローズ、駐車場、予備日等については開催俱楽部の横浜カントリークラブにて、早急に検討し、決定することを確認した。

### 2.開催処理事項担当分担

別紙運営分担表をもとに、事務局長が詳細に説明これを承認した。

### 3.入場券等の手配

前売券10,000円、当日券 予選3,000円、決勝5,

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

000円を決定した。  
尚、入場者数については横浜オープンの実績等  
を考慮して見直し、収支面において再検討することを確認した。

## 4.協賛および副賞

前年どうり設定することで、各社が承諾していることを確認した。  
尚、開催記念特別賞金については、過去の例にとらわれず、横浜カントリークラブにて検討することとなった。

## 5.コース管理

連盟が定めている現行の管理基準は実情にそぐわないでの、競技委員会にて見直すことになった。

また、7月に横浜オープンが開催されるので、そのコース設定をもとにコース管理することを確認した。

## 6.その他

中井副委員長より、現行の各地区オープンの開催方式は今年度限りとなり、4年度よりあらたな方式で、開催することをJGA、各地区連盟にて検討協議中である旨の報告がなされた。

## お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟俱楽部便覧」(平成3年度1月31日現在)の変更事項は下記のとおりです。お手数ですが、訂正加筆をお願いします。

### HDCP

・関越ハイランドゴルフクラブ

●→△に変更

・川越カントリークラブ

▲→●に変更

### 理事長

・高坂カントリークラブ

(新)伊部恭之助

(旧)堀田 庄三

・グランドラムカントリークラブ

(新) 笠原 幸雄

・スプリングフィルズゴルフクラブ

(新)小宮山英一

(旧)河村 良彦

・新潟ゴルフ俱楽部

(新)鈴木 正二

(旧)上原 正良

・日高カントリークラブ

(新)高橋 正孝

(旧)高橋 修一

### 俱楽部代表者

・望月東急ゴルフ・クラブ

(新)石原 俊輝

(旧)加藤 武彦

・浜松シーサイドゴルフクラブ

(新)福田 豊

(旧)渡辺継太郎

・沼津国際カントリークラブ

(新)山田 友昭

(旧)山田 健雄

・東京ゴルフ俱楽部

(新)青木香須夫

(旧)西邑 真

・伊豆スカイラインカントリー俱楽部

(新)佐藤 三郎

(旧)大沢 泰

・南摩城カントリークラブ

(新)福富 俊夫

(旧)岡地 中道

### 支配人

・芳賀カントリークラブ

(新)永長 藤男

(旧)萩原 正

・あさひヶ丘カントリークラブ

(新)江崎 猛

(旧)木下 忠雄

・秋山カントリークラブ

(新)金尾 稔

(旧)河野 寛一

・小金井カントリー俱楽部

(新)原 秀夫

(旧)山崎 治

・新潟ゴルフ俱楽部

(新)玉木 幸一

(旧)梅川 正平

・箱根カントリー俱楽部

(新)武藤 調弘

(旧)水峯 嘉夫

・江戸崎カントリー俱楽部

(新)川上 孝太

(旧)平山 良三

### 東京事務所

・麻生カントリークラブ

(新) 〒104 東京都中央区京橋2丁目

17番7号芳沢ビル1階

(旧) 〒104 東京都中央区京橋2丁目

14番1号

### 電話番号

・サニーカントリークラブ

(新) 0267-54-2001

・埼玉ゴルフクラブ

(新) FAX0492-95-2330

定休日(火)

### 住所訂正

・利根ゴルフ俱楽部

茨城県稟敷郡東村伊佐部1450番地

### 氏名訂正

・武藏カントリー俱楽部

俱楽部代表者 羽鳥 秀二